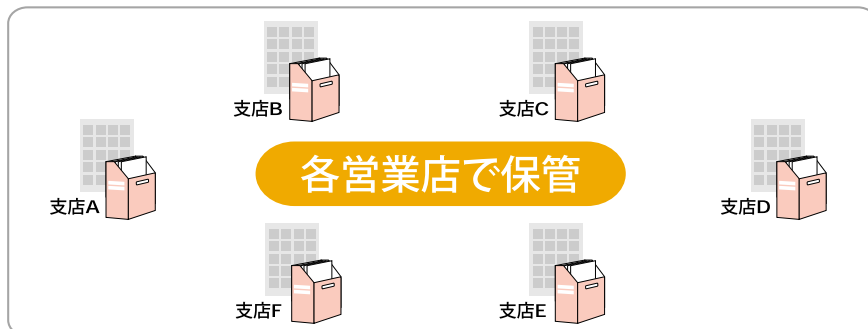


大量にある債権書類の現物管理を実現。

導入前

導入の経緯

神奈川銀行様では、従来各営業店でそれぞれ保管していた債権書類を、管理・保管上の問題や個人情報保護等の観点から1ヶ所に集約して保管することになりました。集約された大量の書類を正確かつ効率的に管理するためのツールとして、文書管理に最適な日本信号の積層ICタグをご採用頂きました。



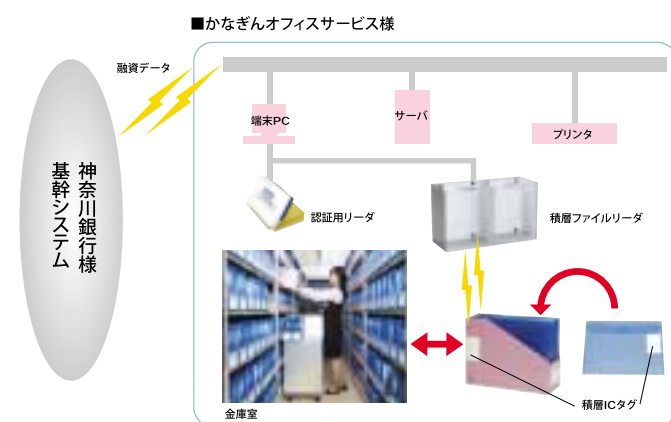
解決すべき課題

- 数万件の債権書類を手作業やバーコードで棚卸するには時間がかかってしまう
- 保管場所が限られるため、営業店単位、期間単位での仕分け保管が出来ない

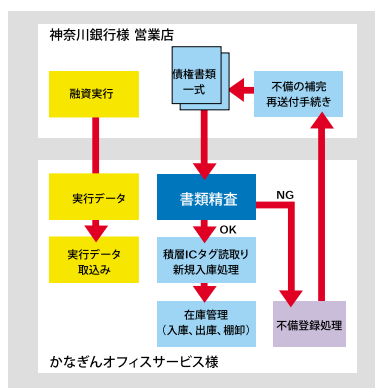
債権書類管理システム 導入後

- 数万件の棚卸しを、約半日で完了
- 保管場所をシステム管理することにより、仕分け保管による無駄なスペースを解消

■システム全体図



《業務フロー》



機能概要

- ・入庫登録
- ・入出庫記録
- ・不備返却履歴管理
- ・棚卸

導入機器類

- ・積層ファイルリーダー 2台
- ・積層ICタグ 約30,000枚

《システム概要》

- 債権を入れたクリアファイル及びクリアファイルを収納するファイルボックスに積層ICタグを貼付け、格納場所、ファイルボックス、債権書類の3点がシステム上で一意に紐づくようにした。
- 入出庫、棚卸の際に管理用リーダーでファイルボックス内を精査することで、一括棚卸しを実現し、どのファイルボックスに何の債権書類が入っているかが常時明確になるようにした。

導入効果

- 棚卸し効率の向上
- 書類検索時間の短縮
- 書類の誤混入防止
- 情報漏えい防止
- 作業の効率化
- 営業店のCS向上